

## 薬剤師による入院時持参薬確認の実施方法変更前後の実態調査

### 研究の意義、目的：

2015年2月に国立がん研究センター東病院では入院時における薬剤師による、患者さんが病院に持ってこられたお薬のチェック（以下、持参薬業務）の場所を病院1階の調剤室窓口から病棟に変更しました。この持参薬業務の場所はどこであるのがよいかまだ明らかではなく、報告が少ないのが現状です。本研究は、持参薬業務の場所を変更したことによる良いこと、悪いことを検討し、今後の患者さんへの持参薬業務を考察することを目的としています。

### 方法：

本研究では持参薬業務が病棟で開始された2015年2月5日前後の平日20日間の期間に国立がんセンター東病院で持参薬業務を受けた患者さんの診療録の記録から持参薬業務の実施率、掛かった時間、持参薬業務を通して他の医療スタッフに情報をフィードバックした頻度などの記録を調査・集計することで比較し、また、解析を行うことで今後の患者さんへの持参薬業務を考察します。

### 個人情報保護に関する配慮：

診療録の閲覧は個人情報を伴いますが患者さん個人が特定されない方法で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用で別途割り振られた研究登録番号を使って管理し、個人情報が院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、下記連絡先まで申し出てください。

### 問い合わせ、苦情等の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市の千葉県柏市の千葉県柏市の6-5-1

国立がん研究センター東病院 薬剤部

研究責任者 鈴木真也

TEL 04-7133-1111(内線 91151)/FAX 04-7134-6879